



緑色の空、紫の地

出演



あらすじ

佇む一対の人型生物。そのものたちは何かしら音声で交流を図ろうとしているのか、交互に音を鳴り響かす。我々は傍観者。偶然か不意な思いつきからかその生物たちは聞き馴染みのある音を発し始める。その内容は一体どんなものだろうか。この人型生物の話すことというのは我々が話すようなことと変わらないものなのだろうか、それともまったく検討がつかないものなのだろうか。そんな思いをよそに会話はどんどんと続いて行き、徐々に明らかになってゆく世界。その生物たちの会話の終わりはどこに。1人の人間が現れ、ただただ自分の思いの丈を語って行く。制御外となった言葉はどこへ向かうのか。佇む一対の人間。なんの変哲もない会話が重ねられて行く。またも我々は傍観者。ひょんなことから会話の調子は変わっていく。どこか別のところでこんな会話の流れを感じたことが…以上三つのまとまりからなる少し不思議な状景群。